

自分の頭で考える

勉強方法は千差万別です。自分の成績が伸びる勉強方法が何かを常に考えながら勉強していくことが何より重要です。そのことを踏まえてあくまでも一例として私の勉強方法を紹介したいと思います。

私はロースクールの授業では予習にとにかく力を入れていました（復習をしなくても良いという趣旨ではありません）。科目によっては予習に10時間ほどかかることもありましたが、レジュメや教科書を徹底的に読み込んで授業に臨み、授業自体を一つの復習の場と考えていました。それでもわからない部分については授業後にすぐさま質問に行ったりオフィスアワーを利用したりして解決するようにしていました。復習主体の勉強だと先生の噛み砕いた説明を聞いた上で理解に辿り着くというプロセスをたどり、「自分の頭で考える」ということをしにくくなると考えたからです。短期的な効率のみを重視するのであれば、復習メインの方が短時間でレジュメの内容を押さえることができます。しかし、その分自分の頭で考えるという習慣が抜け落ちてしまいやすいように思います。実務に出れば答えのない問いに自分なりの解答を出せるようにならなければなりません。何を調べれば、あるいはどのように考えれば解答を出せるようになるのかという力を養う訓練の一種として予習にしっかり臨むことは重要だと思います。予習を行う際に私が気を付けていたことは解答までのプロセスをしっかりと言語化しておくことです。ただ単に解答を調べるのではなく、なぜそのような解答になるのかを自分の言葉で説明できるようになれば、細かい知識が抜けたとしても一定の解答に辿り着くことができるはずです。

私はロースクールの既習試験に落ちて未修で入学しましたが、1年目に徹底的に「自分の頭で考える」ということを意識して勉強することを通じて、未修1年目が終わった頃には司法試験に合格する土台ができたと思っています。法律の知識は勉強量を通じて確保することはできますが、考える力は量をこなすだけでは身につけません。せっかくロースクールで2年ないし3年勉強するのであれば、目先の知識の習得にとらわれず是非とも腰を据えて考え抜く力を養って欲しいと思います。

冒頭で述べた通り勉強方法は十人十色です。純粹未修の人がいれば、予備校で既にある程度の学習をして既習で入学する人もおり、ロースクール入学時点で司法試験合格のために必要な勉強の量・やり方は変わってくると思います。ここで記載した勉強方法もあくまでも一例ですので各々にあった学習スタイルを確立していけば良いと思います。